

おおおげ さ 大袈裟

「あのひとの
いう事は
大袈裟だよな」



風でざわめく
木に娘
木が怒ってる
「たれぢイカン」

茗住^ア

おかげ

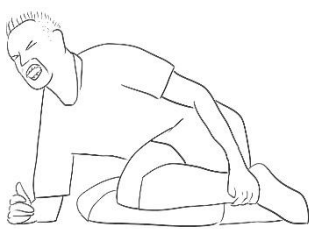
ほんがんに
本願寺派で
は食前の言葉



実際よりも誇張した言い方を大袈裟と世間では言う
ようです。大袈裟は漢字の通り大きな袈裟の事。僧侶が
用いる正装の事を指します。

仏教がインドから中国に伝わると儀礼が発達しまし
た。元々は、寄進された古衣をつなぎ合わせたものを
袈裟と呼んでいましたが、だんだんと華美なものとなっ
ていきました。

大袈裟は僧侶側から見れば、仏への儀礼を大切にす
るところから大袈裟を身に着けます。しかし、世間で
大袈裟というあまりにも装飾がいきすぎるころから
そのように言われます。



時々、立派な袈裟を着けることを目標にされる方がお
られますが、袈裟を身に着けるものは儀礼を大切にす
るところを失ってはいけません。その袈裟にふさ
うでなければ、あの人は大袈裟だねと揶
揄されることでしょう。その袈裟にふさ
わしい心構えで臨みたいものです。自分
への戒めをこめて

こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語を
紹介しています。



迷惑をかけながら生きていくのが人間です。
その上でお蔭さまでした。お世話になりました
たとお礼を言いながら生きていくことを心
掛けたいものです。

があるのをご存知でしょうか。
「多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうを
めぐまれました。深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。」
食後の言葉は、
「尊いおめぐみをおいしくいただき、ますますご恩報謝につと
めます。おかげで、御馳走さまでした」
なんのためにいただきますと言う文化があるのか、今一度確認
していかねければなりません。
「おかげ」とは、元々は眼には見えない神仏の加護の事を指
していました。「おかげさまで」とは、自らの力で成り立つて
いるのではなく、様々なものに支えられて生かされていること
を表す言葉だったのです。
よく、「誰にも迷惑をかけないで生きたいわ」と言う言葉を
耳にします。仏教の教えから言えばそれはできません。お互い